

令和3年度匝瑛市病院事業会計決算の概要

病院事務局経理班
0479-72-1525

1 決算の状況

(単位:千円)

	病院事業	介護老人保健施設事業	合計
収益	2,162,741	605,648	2,768,389
費用	2,125,841	631,339	2,757,180
差引	36,900	△ 25,691	11,209

繰入金	468,126	27,482	495,608
差引	△ 431,226	△ 53,173	△ 484,399

病院事業においては、令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響が続き、外来患者数は一部回復したものの、入院患者数は前年度よりも更に減少した。新型コロナウイルスワクチン接種などにより医業収益は増加したが、他会計補助金や特別利益が減少し、収益全体では前年度と比較して50,226千円(△2.3%)減となった。費用では、減価償却費や給与費、経費が増加したが、特別損失が減少したことにより、費用全体で前年度と比較して141,629千円(△6.2%)減となった。その結果、病院事業では36,900千円の黒字となった。(一般会計繰入金を差引いた場合、431,226千円の損失)

介護老人保健施設(そうさぬくもりの郷)事業では、入所者数、通所者数いずれも減少したが、介護報酬の新たな加算を取得したことで、施設事業収益は増加し、収益全体では、前年度と比較し13,015千円(2.2%)増となった。費用では、減価償却費が増加し、前年度と比較して1,460千円(0.2%)の増となった。その結果、介護老人保健施設事業では25,691千円の赤字となったが、前年度より11,555千円収支が改善した。(一般会計繰入金を差引いた場合、53,173千円の損失)

病院事業合計では11,209千円の黒字となり、前年度より102,958千円損益が改善した。

病院事業

(単位:千円、%)

区分	令和3年度		令和2年度		増減額	増減率
	決算額	構成比	決算額	構成比		
病院事業収益 A	2,162,741	100.0	2,212,967	100.0	△ 50,226	△ 2.3
医業収益	1,393,461	64.4	1,377,182	62.2	16,279	1.2
入院収益	674,827	31.2	703,761	31.8	△ 28,934	△ 4.1
外来収益	562,927	26.0	549,528	24.8	13,399	2.4
他会計負担金	53,614	2.5	52,224	2.4	1,390	2.7
その他医業収益	102,093	4.7	71,669	3.2	30,424	42.5
訪問看護ステーション収益	97,096	4.5	100,805	4.6	△ 3,709	△ 3.7
居宅介護支援事業所収益	34,831	1.6	32,901	1.5	1,930	5.9
医業外収益	637,353	29.5	677,329	30.6	△ 39,976	△ 5.9
他会計補助金	421,214	19.5	520,676	23.5	△ 99,462	△ 19.1
その他医業外収益	216,139	10.0	156,653	7.1	59,486	38.0
特別利益	0	0.0	24,750	1.1	△ 24,750	△ 100.0
病院事業費用 B	2,125,841	100.0	2,267,470	100.0	△ 141,629	△ 6.2
医業費用	1,913,819	90.0	1,844,755	81.4	69,064	3.7
給与費	1,224,917	57.6	1,196,951	52.8	27,966	2.3
材料費	165,604	7.8	171,960	7.6	△ 6,356	△ 3.7
経費	403,958	19.0	376,449	16.6	27,509	7.3
減価償却費	116,754	5.5	81,300	3.6	35,454	43.6
その他医業費用	2,586	0.1	18,095	0.8	△ 15,509	△ 85.7
訪問看護ステーション費用	111,763	5.3	109,320	4.8	2,443	2.2
居宅介護支援事業所費用	29,232	1.4	31,964	1.4	△ 2,732	△ 8.5
医業外費用	69,221	3.2	62,480	2.7	6,741	10.8
支払利息	858	0.0	499	0.0	359	71.9
その他医業外費用	68,363	3.2	61,981	2.7	6,382	10.3
特別損失	1,806	0.1	218,951	9.7	△ 217,145	△ 99.2
差引(A-B)	36,900		△ 54,503		91,403	

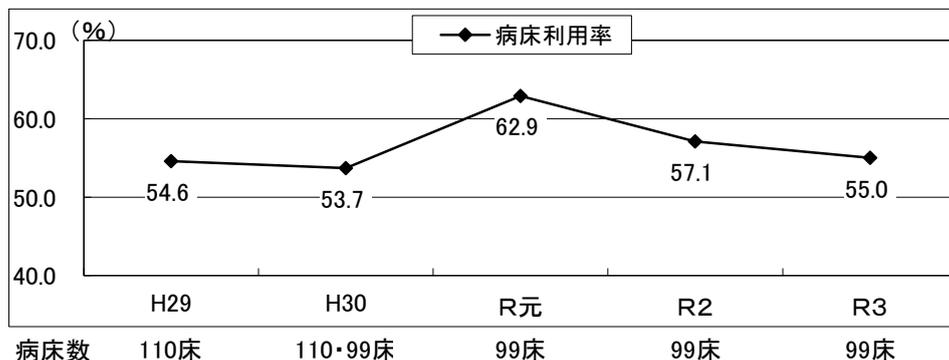
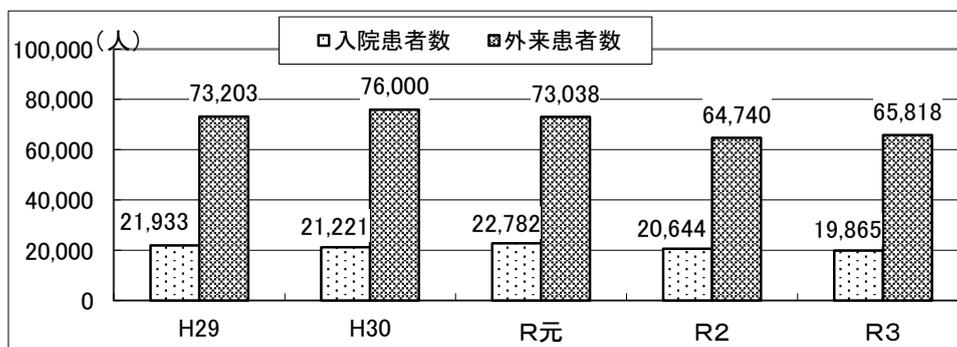
介護老人保健施設事業

(単位:千円、%)

区分	令和3年度		令和2年度		増減額	増減率
	決算額	構成比	決算額	構成比		
介護老人保健施設事業収益 A	605,648	100.0	592,633	100.0	13,015	2.2
施設事業収益	547,327	90.4	540,981	91.3	6,346	1.2
施設事業外収益	50,192	8.3	46,747	7.9	3,445	7.4
特別利益	8,129	1.3	4,905	0.8	3,224	65.7
介護老人保健施設事業費用 B	631,339	100.0	629,879	100.0	1,460	0.2
施設事業費用	607,347	96.2	605,269	96.1	2,078	0.3
施設事業外費用	23,992	3.8	24,610	3.9	△ 618	△ 2.5
特別損失	0	0.0	0	0.0	0	-
差引(A-B)	△ 25,691		△ 37,246		11,555	

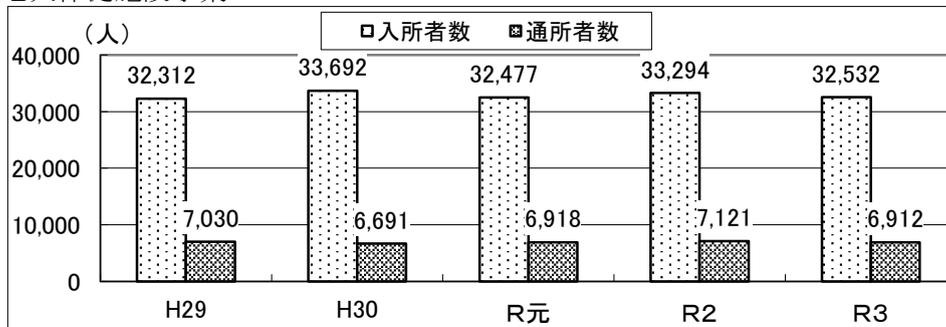
2 患者数等の状況

①病院事業



令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響が続き、入院患者は前年度に対して779人(△3.8%)減の19,865人、外来患者数は前年度に対して1,078人(1.7%)増の65,818人となった。病床利用率は55.0%となり、前年度に対して2.1ポイント減少した。

②介護老人保健施設事業

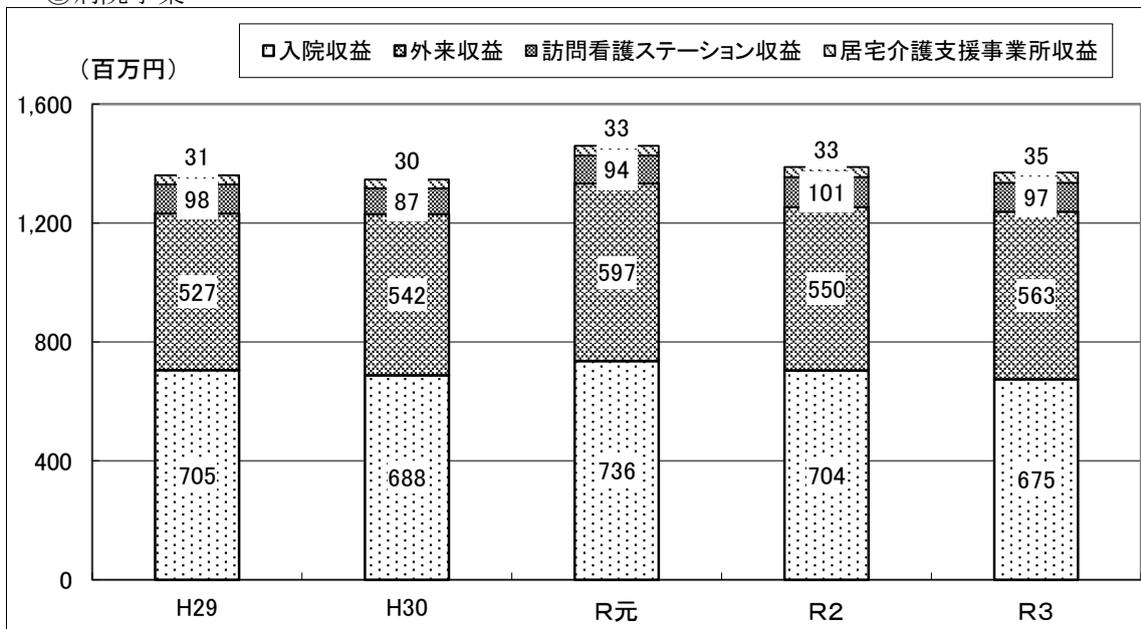


介護老人保健施設そうさぬくもりの郷の入所者数は、前年度に対して762人(△2.3%)減の32,532人、通所者数は、前年度に対して209人(△2.9%)減の6,912人となった。

3 収益及び費用

(1) 収益

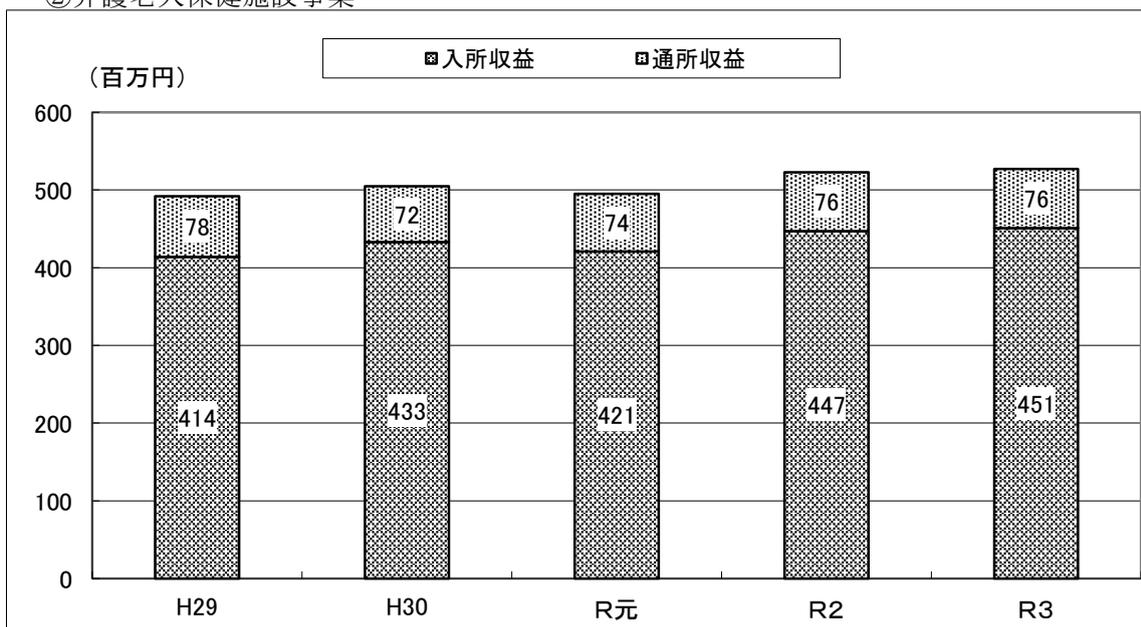
①病院事業



入院収益は前年度に対して29百万円(△4.1%)減の675百万円、外来収益は前年度に対して13百万円(2.4%)増の563百万円となった。

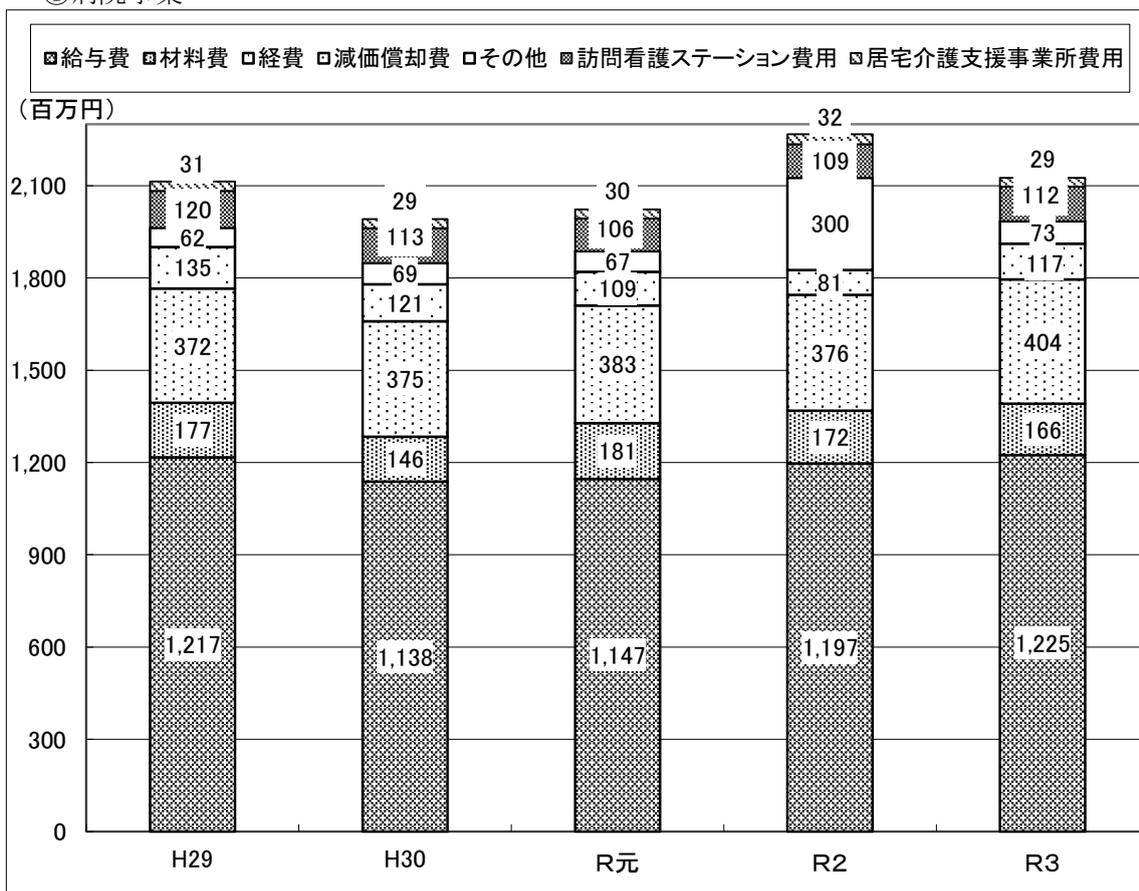
訪問看護ステーション収益は4百万円(△3.7%)減の97百万円、居宅介護支援事業所収益は2百万円(5.9%)増の35百万円となった。

②介護老人保健施設事業



入所収益は前年度に対して4百万円(1.0%)増の451百万円、通所収益はほぼ前年度同額の76百万円となった。いずれも利用者数は減少したものの、介護報酬の新たな加算を取得したことで、収益は増加した。

(2) 費用
①病院事業



給与費は、常勤医師の増加などにより、前年度に対して28百万円(2.3%)増の1,225百万円となった。

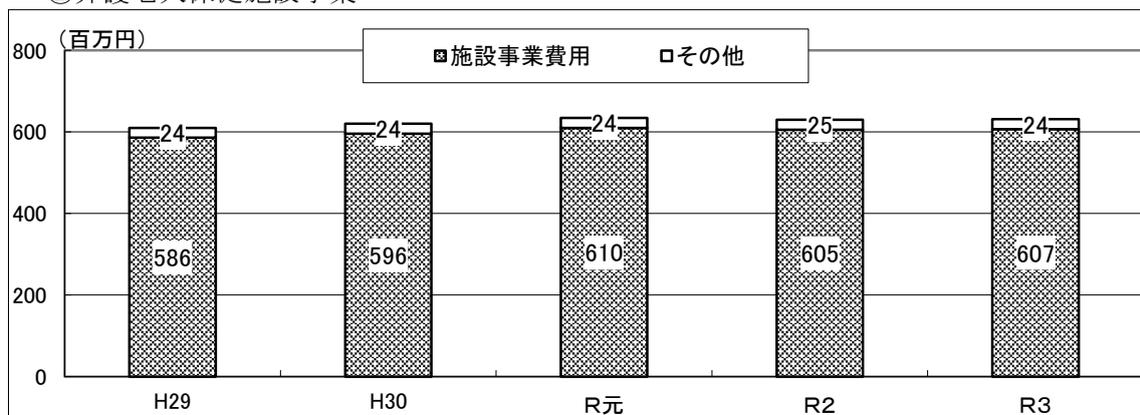
材料費は、薬品費が減少し、全体では6百万円(△3.7%)減の166百万円となった。

経費は、修繕費や消耗備品費が減少したが、委託料や光熱水費、燃料費が増加し、前年度に対して28百万円(7.3%)増の404百万円となった。

減価償却費は、前年度に更新したオーダーリングシステム機器等の減価償却により36百万円(43.6%)増の117百万円となった。

その他は、特別損失の大幅な減少により、227百万円(△75.4%)減の73百万円となった。

②介護老人保健施設事業



施設事業費用は、材料費や経費は減少したが、空調設備の更新により減価償却費が増加し、前年度に対して2百万円(0.3%)増の607百万円となった。

4 経営指標の状況

(単位:千円、%)

区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R2年度 全国自治体 病院平均
経常収支比率	93.4	95.4	97.3	103.6	100.2	101.9
医業収支比率	70.4	74.3	78.8	74.9	72.8	83.2
医業収益に対する職員給与費	82.6	83.1	77.4	84.4	85.6	62.1
医業収益に対する医療材料費	11.9	10.0	11.4	11.5	10.9	25.3
1床当たり繰入金	5,725	5,225	5,545	5,591	5,313	4,252

(地方公営企業決算状況調査)

* 経常収支比率＝経常収益／経常費用 * 医業収益に対する職員給与費＝職員給与費／医業収益

* 医業収支比率＝医業収益／医業費用 * 医業収益に対する医療材料費＝医療材料費／医業収益

* 1床当たり繰入金＝繰入金／病床数

経常収支比率は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症関連の補助金の受け入れにより経常収益を確保できたことで100.2%となった。

医業収支比率は、医業費用の増加等により、前年度より2.1ポイント低下し、72.8%となった。

医業収益に対する割合は、職員給与費が85.6%で前年度より1.2ポイント増加し、医療材料費が10.9%で前年度より0.6ポイント低下した。

病床1床当たりの繰入金は、前年度より278千円減の5,313千円となった。

5 貸借対照表(令和4年3月31日)

資産の部

区分	金額
1 固定資産	
(1)有形固定資産	
ア 土地	180
イ 建物	802
ウ 建物付属	244
エ 構築物	6
オ 医療器械	198
カ 器具備品	139
キ 車両	7
ク リース資産	67
有形固定資産計	1,643
(2)無形固定資産	
ア 電話加入権	1
イ その他無形固定資産	71
無形固定資産計	72
(3)投資その他の資産	
ア 長期前払消費税	35
投資その他の資産計	35
固定資産合計	1,750
2 流動資産	
(1)現金預金	454
(2)未収金	357
(3)貯蔵品	8
流動資産合計	819

負債の部

(単位:百万円)

区分	金額
3 固定負債	
(1)企業債	791
(2)リース債務	55
固定負債合計	846
4 流動負債	
(1)企業債	123
(2)リース債務	14
(3)未払金	77
(4)引当金	98
(5)その他流動負債	11
流動負債合計	323
5 繰延収益	
(1)長期前受金	1,300
(2)収益化累計額	△ 921
繰延収益合計	379
負債合計	1,548

資本の部

区分	金額
6 資本金	3,257
資本金合計	3,257
7 剰余金	
(1)資本剰余金	
ア 受贈財産評価額	112
資本剰余金計	112
(2)利益剰余金	
ア 減債積立金	2
イ 建設改良積立金	9
ウ 当年度未処理欠損金	2,359
利益剰余金計	△ 2,348
剰余金合計	△ 2,236
資本合計	1,021

資産合計 2,569

負債資本合計 2,569

資産合計及び負債資本合計は、それぞれ25億69百万円で、前年度と比較すると13百万円の増額となった。

資産の部のうち固定資産合計は、前年度に対して40百万円減の17億50百万円となった。

流動資産合計は、前年度に対して53百万円増の8億19百万円となった。

負債合計は、前年度に対して20百万円減の15億48百万円となった。

資本合計は、前年度に対して33百万円増の10億21百万円となった。